学校番号	3037

令和８年度　理数科

教科	理数	科目	理数数学Ⅰ （数学Ⅰ）	単位数	5単位 （内3単位）	年次	1年次
使用教科書	改訂版数学Ⅰ、数学Ⅱ　（数研出版）						
副教材等	改訂版 4STEP　数学Ⅰ＋A　（数研出版） 改訂版チャート式　基礎からの数学Ⅰ＋A（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、まず講義で基礎的な内容や解法を理解してもらいます。その後、問題解決のため、結果を予想し、よりよい解決方法を自分で考え、解決していくようにしてください。そのため、授業で問題演習も随時取り入れ、主体的に考え、周りの人と協働で考える活動も行います。
・問題集用のノートを用意し、問題集の問題を自分で解いてください。また、各自答えあわせをして、自分がどこまで理解できており、どこでつまずいているのか、到達度を知ってください。
・家庭学習における課題を定期的に提出してもらいます。計画的な学習習慣を身につけましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
数学における基本的な概念や原理・法則を系統的に理解するとともに、事象を数学科したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
事象を数学的に捉え、論理的・統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、事象を数学的に探究しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学的活動を通して、数と式・集合と命題・2次関数・図形と計量・データの分析と、式と証明・複素数と方程式における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。また、事象を数学的に考察し、表現・処理する仕方や推論の技能を身につけ、道筋を立てて問題を解決できる。	数学的活動を通して、数と式・集合と命題・2次関数・図形と計量・データの分析と、式と証明・複素数と方程式における数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的に捉え、論理的に考察するとともに、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考察し、表現できる。	数学的活動を通して、数と式・集合と命題・2次関数・図形と計量・データの分析と、式と証明・複素数と方程式における考え方に関心を持つとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを主体的に活用しようとする。また、自分自身の学習についての振り返りを行い、評価・改善をしようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	第1章 数と式	第1節　式の計算 1　多項式 2　多項式の加法と減法および乗法 3　因数分解	a:数と式に関する基本的な概念を理解し、知識を身につけているとともに、数と式を用いて事象を表現・処理する技能を身につけている。 b:数と式の考え方を用いて、事象の考察や表現をし、その過程を振り返ったりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。 c:数と式の考え方に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 提出ノート 観察
		第2節　実数 4　実数 5　根号を含む式の計算				
		第3節　1次不等式 6　1次不等式 7　1次不等式の利用				
	第2章 集合と命題	1　集合 2　命題と条件 3　命題と証明	a:集合と命題に関する基本的な概念を理解し、知識を身につけているとともに、集合と命題を用いて事象を表現・処理する技能を身につけている。 b:集合と命題の考え方を用いて、事象の考察や表現をし、その過程を振り返ったりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を主体的に身につけている。 c:集合と命題の考え方に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 提出ノート 観察
	第5章 データの分析	1　データの整理 2　データの代表値 3　データの散らばりと四分位範囲 4　分散と標準偏差 5　2つの変量の間の関係 6　仮説検定の考え方	a:データの分析に関する基本的な概念を理解し、知識を身につけているとともに、データの分布の特徴をいろいろな方法で表現・処理する技能を身につけている。 b:データの分析の特徴の考察や表現をし、その過程の振り返りなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。 c:データの分析に関心をもち、いろいろな手法を認識し、事象の考察に活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 提出ノート 観察

二学期	第3章 2次関数	第1節 2次関数とグラフ 1 関数とグラフ 2 2次関数のグラフ 3 2次関数の最大と最小 4 2次関数の決定 第2節 2次方程式と2次不等式 5 2次方程式 6 グラフと2次方程式 7 グラフと2次不等式	a:2次関数に関する基本的な概念を理解し、知識を身につけているとともに、2 次関数を用いて事象を表現・処理する技能を身につけている。 b:2 次関数を用いて、事象の考察や表現をし、その過程を振り返ったりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。 c:2 次関数に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 提出ノート 観察
	第4章 図形と計量	第1節 三角比 1 三角比 2 三角比の相互関係 3 三角比の拡張 第2節 三角形への応用 4 正弦定理 5 余弦定理 6 正弦定理と余弦定理の応用 7 三角形の面積 8 空間図形への応用	a:三角比に関する基本的な概念を理解し、知識を身につけているとともに、三角比を用いて事象を表現・処理する技能を身につけている。 b:三角比を用いて、事象の考察や表現をし、その過程を振り返ったりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。 c:三角比に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 提出ノート 観察
三学期	第1章 式と証明	第1節 式と計算 1 3次式の展開と因数分解 2 二項定理 3 多項式の割り算 4 分数式とその計算 5 恒等式 第2節 等式と不等式の証明 6 等式の証明 7 不等式の証明	a:式と証明に関する基本的な概念を理解し、知識を身につけているとともに、式と証明を用いて事象を表現・処理する技能を身につけている。 b:式と証明を用いて、事象の考察や表現をし、その過程を振り返ったりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。 c:式と証明に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 提出ノート 観察

	第2章　複素数と方程式	1　複素数 2　2次方程式の解と判別式 3　解と係数の関係 4　剰余の定理と因数定理 5　高次方程式	a:複素数と方程式に関する基本的な概念を理解し、知識を身につけているとともに、複素数と方程式を用いて事象を表現・処理する技能を身につけている。 b:複素数と方程式を用いて、事象の考察や表現をし、その過程を振り返ったりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。 c:複素数と方程式に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 パフォーマンス課題	 パフォーマンス課題 提出ノート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度